

名古屋外国語大学 数理・データサイエンス教育プログラム(リテラシーレベル)

名古屋外国語大学 数理・データサイエンス教育プログラムに係る自己点検・評価の概要(2023年度)

1. 点検・評価の実施

名古屋外国語大学メディア情報・データ科学センター データ科学教育研究部門が主体となり、2023年度における「数理・データサイエンス教育プログラム」を構成する授業科目について点検・評価をおこなった。

2. 点検・評価の対象

当該プログラムを構成する7科目「情報リテラシー」、「データサイエンスA」、「データサイエンスB」、「プログラミング言語」、「AI・データサイエンス入門」、「社会調査法」、「AIとの共生社会」について、点検・評価をおこなった。

3. 点検・評価の根拠資料

- ・ 上記科目を対象とする「数理・データサイエンス教育プログラム (MDS) 関係科目授業評価アンケート2023年度1期」
「数理・データサイエンス教育プログラム (MDS) 関係科目授業評価アンケート2023年度2期」
- ・ 上記科目のシラバス、履修要項
- ・ 上記科目の履修状況に関するデータ

4. 自己点検・評価の結果の総括

後述の4つの視点から自己点検・評価を実施した。2023年度から必修科目の授業内容を一部変更するとともに、選択科目を追加した。そのことにより、学生は2年次以降においても当該プログラムの履修機会がより得られるようになった。結果として、プログラムの履修者数および履修率は高い水準にある。アンケート調査から学生の満足度および理解度は総じて高い。前回の自己点検・評価から「推奨度」をアンケートの質問項目に追加することにより、学生による授業評価をより適切に把握できるようになった。今後も現状把握をおこなうとともに、改善が欠かせない。

名古屋外国語大学 数理・データサイエンス教育プログラム(リテラシーレベル)

《点検・評価結果の概要》

1. 教育プログラムの履修・修了状況・学習成果の把握・改善

2023年度から必修科目を一部変更したが、2年次以降においても当該プログラムの履修機会が得られるようになり、プログラムの履修者数および履修率は高い水準にある。

2. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度・後輩等他の学生への推奨度の把握・改善

「情報リテラシー」「データサイエンスA」、「データサイエンスB」、「プログラミング言語」「AI・データサイエンス入門」、「社会調査法」、「AIとの共生社会」のアンケート結果の概要は表のとおりである。

いずれの項目も昨年度と同様に高い水準であることが確認できる。一方で、昨年度のアンケート結果と比較した場合、いずれの項目においても僅かに数値が低下している。その原因として、一部の科目におけるシラバス変更により、多くの履修者が苦手意識を持つ数理的内容が増えたことが考えられる。アンケートの結果から履修者の多くは本プログラムの重要性を強く認識しており、来年度以降における学生の理解度を考慮した授業進行、またより適切な予習・復習の指導により、本プログラムのいっそうの成果が得られるだろう。

アンケート項目	平均値
この授業は、全体として満足であった	3.66
この授業には、休まず出席していた。	4.08
この授業には、真剣な態度で受講した	4.01
この授業に関して予習、復習などを積極的に行なった	3.02
教員はわかり易く説明していた	3.83
教員は授業に熱意を持って取り組んでいた	3.92
この授業に大変興味を持てた。	3.39
授業の進み具合はどうだったか	2.71
授業のレベルはどうだったか	3.36

* 最高点が5点、最低点1点

3. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

2024年度におけるプログラム構成科目の開講により、2024年度はより発展的な科目の履修が期待されるとともに、これまでに以上に多くの履修が見込まれる。

4. 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価・産業界からの視点による教育プログラム内容・手法等への意見

就職活動に取り組む学生へのアンケートを実施するとともに、「AI・データサイエンス入門」を担当する企業のデータサイエンティストからプログラム全体への意見を聴取し、改善に役立てる。